

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		LEGONKids S		公表日		2025年 4月 17日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・運動ルーム、プレイルーム、学習室と人数を制限し決めている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	78%	22%		・1人体調不良で休むと人員配置が足りていない状態になり職員が足りていないと思う	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・玩具の入れ物には写真が貼られ片付けもわかりやすい。部屋割りの時間や名前の記入があり理解しやすい工夫をしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・毎日の清掃・掃除方法の検討を行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・児童がクールダウンできる場所が確保されている ・学習室がある		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		・面談がある		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・朝礼・終礼・会議などで意見交換を行っている ・新しいことを始める際には職員の意見を聞くことができる		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	・アンケートを実施している		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・専門職研修、事業所内研修を行っている ・適切な期間で行われている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・保護者との面談を行い、支援内容を確認している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・共有を行ったうえで次の課題なども考えている ・普段の様子の聞き取りをしつつ反映されている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・支援計画を職員間で共有する機会を設けている ・計画内容の変更があれば伝えられている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	89%	11%		・標準化されたものはない	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・具体的な内容にはなっている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	89%	11%	・協力して行えている ・会議を行いトレーニング内容等決めている ・レクリエーション担当同士で行っている ・児童が楽しめるような案を出しつつ性格に身体を動かせるよう話し合いをしている	・チームでは行っていない	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・1年ごとに内容を変えて工夫できている ・各個人の工夫はしている ・1年間取り組んできたことの見直しをして新しい基礎トレーニングを始めている		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・基礎トレーニングを通して個別と終段での取り組みが行われている		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	89%	11%	・必ず朝礼があり確認事項の共有ができてい る	・その日の分担は話合っていない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		・終礼が必ず行われ、引継ぎノートの記入に より休みの職員への共有もできている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なげているか。	100%			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み 合わせて支援を行っているか。	78%	22%		・把握できていない
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		・自由時間も十分にある ・それぞれの意志で行えるようにしている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教 育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	89%	11%		・把握できていない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻 の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適 切に行っているか。	100%			・トラブル発生時の訓練は行ったほうが良い
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	89%	11%	・サポートブック等作成している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。	67%	33%		・対象者がいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	67%	33%		・把握できていない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する 機会があるか。	45%	55%		・情報がなく実施できていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	67%	33%	・参加できていないこともあるが、定期的に 参加できるよう調整していく	・把握できていない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課 題について共通理解を持っているか。	100%		・フィードバックにて共有している	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ ム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会 や情報提供等を行っているか。	67%	33%	・3月に実施 ・保護者交流会で実施	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っ ているか。	100%			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	89%	11%		・今後取り組んでいきたい
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要 な助言と支援を行っているか。	100%		・モニタリング以外でも困りごとや心配事の面談 の機会を作り家族支援を行っている ・児童発達支援管理責任者を中心に実施	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、 保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、 きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	89%	11%	・ビル全体での夏祭りを実施 ・保護者交流会の実施	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも に、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対 応しているか。	100%		・児童発達支援管理責任者を中心に実施	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・ブログやインスタグラムを通して発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・持ち帰ることはない	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・フィードバックを簡潔に行ったり、児童に合わせて絵カードを使用している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%		・把握できていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	89%	11%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・避難経路等確認し訓練を実施している ・マニュアルは共有できている	・事故などの発生を想定した訓練を行ったほうがいい
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・適切な期間で行われ、マニュアルも作成されている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	89%	11%	・保護者に確認している	・現在、医師の指示書をいただいている児童は在籍していない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	89%	11%		・今後、内容を検討し保護者にも周知していく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	78%	22%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・日誌等で周知している ・ヒヤリハットの書類により、再発防止案を考え共有されている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%			